

ゆ

め

通信



6月2日 学生プロジェクト 松本大学キッズスポーツスクール

2~3 **24年度地域づくり考房『ゆめ』始動** / 学生プロジェクト紹介

4 **新プロジェクトを立ち上げて**

5 新入生にインタビュー **学生ゆめ** / **Volere!! アンケート結果発表**

6 **開催報告 つながる高・大 交流フェスタ**

7 **NEWS** お知らせ -「歴史に学ぶ、歴史を伝える」発行-

8 **Information**





# 新メンバーが加わり平成24年度 地域づくり考房 『ゆめ』始動!!

話と和と輪、  
想像と創造の空間

## 想いをカタチに

地域づくり考房『ゆめ』は、学生への教育と学習の融合を目的に、大学で学んだ知識や技術を地域づくりの中で実践的に生かしていくことを目指しています。また、講義で学んだ内容をさらに広げ、地域社会の中で生きた学習活動を地域の方々と一緒に進める、学生主体の活動への支援を行っています。

新年度が始まり、考房『ゆめ』は社会貢献活動を行うとする学生の活力あふれる空間となっています。学生スタッフ主催の「ゆめカフェ」で、新メンバーが加りました。各プロジェクトは、地域の中で学生が「できること・やりたいこと」を実践するために、チームを作り、プロジェクトリーダーを中心に地域と連携した活動を進めていきます。これまでの継続プロジェクトはもちろんのこと、学生の地域社会への関心、問題意識から生まれた新たなプロジェクトも始動しました。一人の想いが、共感するメンバーを集め、みんなでゼロから創り上げていきます。

考房『ゆめ』では、企画立案や運営の手法、新たな地域とのネットワークづくりへの情報提供他、様々な支援を行っています。学生は、『ゆめ』のコーディネイトに支えられ、地域活動への想いを具体的なカタチにしていきます。みんなで考えを出し合い、積み上げていく中で、学生は、問題・課題解決能力や協力の大切さも学んでいます。こうして、いま社会で必要とされるコミュニケーション力が身につけていきます。

今号では、学生主体のプロジェクトを紹介します。

地域づくり考房『ゆめ』専任講師  
福島 明美



## ゆめカフェ OPEN!

ゆめカフェとは?

地域の方々とともに学生主体の地域活動を行っている考房『ゆめ』のプロジェクトが集まり、一緒に活動する仲間を増やそうと学生スタッフが企画しています。

大学生になって何か活動を始めたいという学生に、学生スタッフや各プロジェクトメンバーが活動内容を詳しく説明しました。

先輩と楽しく話しながら活動メンバーの輪が広がっています。学生生活の悩みも相談できる場です。

3学部6学科の学生が自由に参加して和気あいあいとした雰囲気の中で行われました。

## 学生スタッフから一言♪

今回のゆめカフェは、前回の課題で会場が考房『ゆめ』だと入りにくいという意見が出たので、皆が来やすいように、7号館コモンルームの一部を借りて行いました。その結果、たくさんの人の目に留まり、足を運んでくれたので、活動に興味を持ってくれたのではと思います。やる気のある方々がたくさん訪れてくれました!

新しいメンバーとみんなで頑張っていきたいです(^ ^)

観光ホスピタリティ学科2年 原 侑子

## 活動登録者数

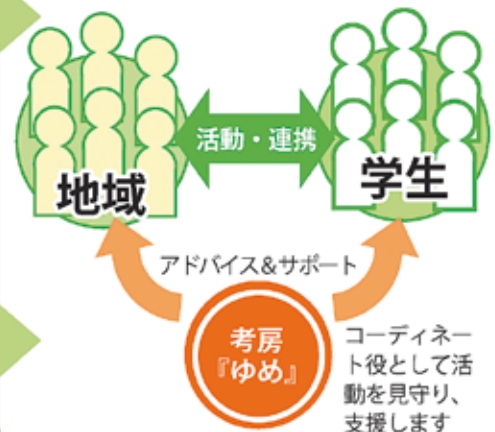
7月1日現在 **165名登録**  
プロジェクト数**17チーム**  
参加者数**122名**



## 学生が活動に参加する流れ



## 成立後の活動





# 学生プロジェクト

## ①<sup>ちくむや</sup>築夢屋プロジェクト

農家や農業高校から仕入れた農産加工品等の販売を行い、生産者に元気を、消費者に安心をお届けし、地域の活性化を図ります。



新プロジェクト

## ②お元気らいふプロップス

大学での学びを活かした講座を開催し、地域の健康づくりを地域の方と一緒に考えていきます。



新プロジェクト

## ③お店で楽しい縁側づくり

大学近くにあるお店を借りて大学での学びを活かした食の提供を通して、地域の方との交流を深めます。



新プロジェクト

## ④みんなで活性!! 上高地線プロジェクト

駅舎清掃やフリーペーパーの発行等を通して、上高地線のイメージアップを図り、愛着をもってもらうことを目指します。



新プロジェクト

## ⑤LibRARy

空間づくりやイベント等を行い、学内外の誰もが気軽に利用できる、“開かれた図書館”づくりを目指します。



新プロジェクト

## ⑥ええじゃん栄村

栄村の農産物直売所と連携して、栄村の特産品を使った加工品づくりや販売を行いながら、栄村の周知と活性化を目指します。



## ⑦大町プロジェクト

国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)と連携し、親子で楽しめる食の体験メニューの考案を行い利用促進を図ります。



## ⑧Sign

若者に向けての啓発イベントや交流会を行い、聴覚障がい者への理解者を増やし、住みよい地域づくりを目指します。



## ⑨信濃X

地域社会の問題・課題をテーマにした映像番組制作を通して、学生や地域の方への啓発を目指します。



## ⑩地域交流和太鼓プロジェクト「松風連」

幅広い世代で構成されたメンバーで、和太鼓の演奏や体験講座を行い、地域との交流を深めます。



## ⑪ヘルシーメニュー

地域の方に、交流を通して栄養や健康へ興味をもってもらうことを目指し、地域の特産品を使った料理の考案と食育を進めます。



## ⑫松本大学キッズスポーツスクール

幼児期の子どもたちに、体を動かすことの楽しさを伝えるため、様々なスポーツやレクリエーションの提供を行います。



## ⑬松本大学こどもあそび隊

親子ともに楽しめる企画を考案し、親同士、親子のコミュニケーションを図る場「こども広場」を開催します。



## ⑭松本BBS会

犯罪や非行のない社会環境づくりを目指して、少年少女の相談相手や遊び相手となり、成長や立ち直りの手助けを行います。



## ⑮ゆめ撮影隊

学生や地域の方が行う地域活動を撮影し、多くの方に知ってもらい、参加してもらうため、広報していきます。



## ⑯ゆめ通信編集委員

地域に学生の活動を周知するために「ゆめ通信」の“学生ゆめ”コーナーを制作します。また、学生のための「Volere!!」を制作し、発行します。





# 新プロジェクトを立ち上げて

## 新鮮な食材と笑顔が集まる店 「築夢屋」プロジェクト



観光ホスピタリティ学科1年  
武田 晴信

**高**校時代に、果樹栽培を通じた交流会で、多くの方達と出会いました。また、農家研修では、授業では学べない農業の大切さや大変さを改めて学びました。その時感じた楽しさや自分の想いをもっと多くの人に伝えていきたいと思いました。

入学後、高校時代からの夢であった、農業を通じた地域活性化を実現するため、地域づくり考房『ゆめ』で福島先生に相談しました。そこで、松本大学の近くに「みすず屋」というお店があり、週に1日学生に貸していただけたということをお聞きし、企画を立て始めました。入学後の1ヶ月でたくさんの仲間が集まり、松本大学生による夢を築く場所「築夢屋」プロジェクトを立ち上げました。主に企画している内容は、母校である南安曇農業高校の農産加工品の販売、高校時代の研修でお世話になった農家の方の農産物の販売、地元の新村地区の方達が自分の作ったものを自由に持って来ることができる場づくりです。みんなで協力して地域に役立つように頑張っていきたいです。

## 地域のみなさんの元気な生活を支えていく 「お元気らいふプロップス」



スポーツ健康学科4年  
赤津 恵子

**大**学でスポーツ心理学、ウォーミングアップや筋肉トレーニングの理論と実践を学びました。この学びを、少しでも健康づくりを実践している、実践しようとしている地域の人々に役立てたいと考えました。さらに、地域の課題解決のために一緒に考えていければと思いました。また、逆に地域の人々からいろいろなことを教わることができたら、自分の学びの幅が広がると考えました。

早速、地域づくり考房『ゆめ』に相談し、志を同じくするメンバーを集め、考房『ゆめ』を拠点とした活動をすることにしました。地域の皆さんのお元気な生活を支えていく気持ちを込めてチーム名を「お元気らいふプロップス」としました。「プロップ」とは電信柱の支柱のような物のことです。

本学の地域健康支援センターへの参加や、公民館での活動を予定しています。具体的には、有線放送でのミニ話、楽しみながらできる体力づくり、転倒予防の筋力アップなどワンポイントレッスン、若者と楽しい(?)おしゃべりなどを含めた15分コースや30分コースなどを企画して、地域の皆さんと一緒に健康づくりを考えていきます。皆様のお声がけをお待ちしています。

開催日：第1・3金曜日 15:00～17:30  
場所：新村郵便局横 みすず屋

地域の要望に合わせて開催

# 継続プロジェクトで初めてプログラムを企画



スポーツ健康学科1年  
片瀬 咲季

私は、子供が好きで、子供と一緒に体を動かせたらいいなと思い、学生プロジェクト「キッズスポーツスクール」に入りました。6月に、初めて企画を任せてもらいました。4、5月に参加して先輩から学んだことや講義「レクリエーション実技」で犬飼先生に教わったことを参考に企画しました。瞬発力をテーマに、遊びながら筋力もつけられ瞬発力もつけられるように、メニューを考えました。3歳から小学生までと年齢の幅が広いので、いろいろな年代に合わせて行うのが難しかったです。

この活動の楽しさは子供と触れ合えることです。ただ参加するだけより企画できた方が楽しいと感じました。やらなければという責任感が生まれ、自分でこうしようと考えました。本番の時に臨機応変にメニューを変えることも必要で、勉強になりました。

キッズスポーツスクール  
開催日：第1・3土曜日 10:30～12:00  
場所：松本大学 対象：3歳～6歳

## 新入生にインタビュー!!

新しくプロジェクトに加入した藤澤美紗希さん(こどもあそび隊)と、河野夢希さん(Sign)にお話を聞きました。2人ともゆめカフェに参加してから、地域づくり考房『ゆめ』のプロジェクトに参加しようと思ったそうです。

### Q1: どこで「ゆめカフェ」を知りましたか?

藤澤: 友人から聞いて、行ってみようと思いました。

河野: 新入生オリエンテーションで知りました。

### Q2: なぜそのプロジェクトに入ろうと思ったのですか?

藤澤: ゆめカフェで説明してくれたのが「こどもあそび隊」の先輩で、楽しそうだと感じたからです。

河野: 手話に興味があって楽しそうだなと思ったからです。

### Q3: 実際に活動してみてどうでしたか?

藤澤: 思っていたよりも小さい子が多く、コミュニケーションが上手くとれず大変でした。

河野: 部活のように厳しい規則があるわけではないので、気軽に手話を学べて楽しいです。

### Q4: 今後頑張っていきたいことは何ですか?

藤澤: 色々な世代の人と接して、コミュニケーション能力をつけていきたいです!

河野: 覚えた手話を活用して、積極的に聴覚障がい者の方と楽しくコミュニケーションをとりたいです。

**松大生がつくる情報発信のページ**  
 こんにちはー気温が30度を超える日が多くなり、夏本番ですね。みなさん体調管理に気を付けてください。今回の学生ゆめのページは、初々しい新メンバーへのインタビューと、ヴォレレのアンケート調査結果をまとめてみました。

# 学生ゆめ

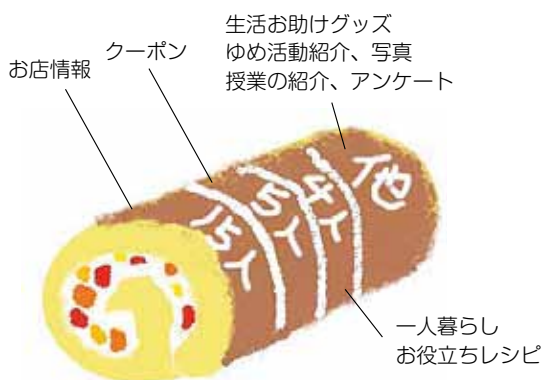


# Volere!!

ヴォレレ

今回は、新入生向けに私たち「ゆめ通信編集委員」が発行したVolere!!に関するアンケートを行い、次号の作成に生かせる意見を得ることができました。その回答をグラフ等でまとめました。

## 01 Volere!!の中でどのページが役立ちましたか?



## 02 クーポンは使いましたか?



## 03 どんなお店のクーポンが欲しいですか?

生協の商品、レストラン上高地、カフェ、周辺のラーメン屋、ファミレス、松本駅周辺のお店、コンビニ、モスバーガー、雑貨や文房具、スポーツ店、スイーツのお店、ボリュームがあってガッツリ食べられるお店

## 05 今知りたい、興味があること

音楽から食に至るまでの生活面の関心や、地域や農業についてなどの社会的・経済的な面への関心が強いことが分かりました

## 04

### こんなコーナーがあったらいいなという要望はありますか?

学校生活で役立つこと、求人情報、ペットの写真、少年少女漫画の紹介、時事問題のクイズ、皆の小遣いはどのくらい持っているか、駅周辺の情報、先生方のお勧めの本、お勧めスポットの紹介

Volere!!に掲載された中でも、新村以外のお店の紹介をはじめクーポン、マップが主に役立っていることが分かりました。また、一人暮らしに役立つレシピや考房『ゆめ』の活動紹介も新生活を始めた1年生の皆さんには参考になったようです。クーポンの利用頻度は思った以上に少なかったことが残念ではありますが、どんなお店のクーポンが欲しいのか聞くことで、より身近なお店や利用頻度の高い生協のクーポンの需要があることが分かりました。ご協力くださった皆さんありがとうございました。

ゆめ通信編集委員



# つながる高・大 交流フェスタ

3・11東日本大震災から1年。私たち自身の暮らしや価値・行動や地域活動を見つめなおし、今できることは何かを高校生・大学生が集い考え合う中で、今後の生活に生かしていくことを目的に、高校・大学の教員、松本大学生による実行委員会主催の「第1回つながる高・大交流フェスタ」を、3月18日松本大学で開催しました。

## 被災地活動紹介

### ■エクセラン高等学校

鉢花販売利益など義援金の寄付・ヒマワリの種の配布・寄せ書きなどの送付・震災を忘れないための放射能についての学習など。

### ■辰野高等学校JRCクラブ

生徒会との募金活動・震災で仕事を失った共働作業所「ピーターパン」に、CDなどを集め約360枚を送付。

### ■松本大学 梶原 悠（健康栄養学科3年）

募金活動・大学の復興支援活動へ参加・学祭でチャリティーグッズ販売・現地活動映像の制作と放送で啓発など。

### ■松本大学 米山 詩乃（健康栄養学科4年）

石巻での復興支援活動で、仲良くなった中学生から届いたメールを紹介。被災地の現状と不安な気持ちやもどかしさ等、被災者の声を届ける。

### ■炊き出し機動部隊「みらい」 浅田 修吉さん

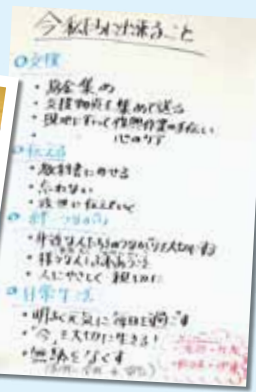
炊き出しを通じた被災地各地の状況を紹介。参加者へ下記のメッセージを送った。

～浅田さん～ 誰かの企画に参加するボランティアは楽ですが、自分で考え企画実践していくボランティアというのは本当に大変です。被災地に行ってやっていることがいいことなのか？ 他人の庭に土足で上がり込んでいそうなそんな気持ちでいつも活動しています。



## ワークショップ

活動報告や日々のニュースを聞き、また日々の生活の中で、思ったこと・感じたこと・気づいたこと・今、私たちにできることを19チームに分かれ話し合いました。学生がファシリテートし、高校生による発表があり有意義な会となりました。



## 参加して

- 震災について詳しく知れた。自分がこれから何をしていたらいいかわかった。
- 被災地はすごく大変なんだなと感じた。私たちも小さなことから協力していけば、大きな力になると感じた。
- 皆で改めて3・11の震災のことを話し合っ、まだまだやらなければいけないことがたくさんあるということを実感した。
- 自分の意見に共感してくれる人もいて、すっきりした気分になった。また、話し合うことでいろいろな意見が出て、話し合いは大切だと思った。
- 高校生と話してみても大学生の自分は支援活動の場が多いなと感じた。高校生も（支援活動を）やりたいという気持ちがあることを知った。
- いろいろな人と交流でき、自分の意見をしっかり伝えられたり相手の意見をちゃんと聞けたりして良かった。また松本大学に入学する準備としていい刺激を受けられた。
- 高校生の意見を聞いて共感できることもたくさんあり、良かった。
- 身近な高校、大学生が1人1人様々な意見を発表していて素晴らしい事だと思った。
- 違う高校の方々や大学生の方と交流できて、私が思っている以外の考えを聞き、改めて自分の考えを見直せた。

## 企画・運営して

高校生と大学生が交流できる機会なので楽しんでほしい、自分を出せる交流にしたいと思い、企画は高校生の気持ちになって考えるようにしました。初めて、アドバイスをしながらグループワークを組み立てていく側に立って、本当に難しいなと感じました。また、就職活動を控えて社会に出る準備をしているなかで達成感も得ることができました。

交流会を終えて、今隣にいる人と笑い合っていることが、3・11で被災された方々への元気や勇気につながっているのではないかなと思いました。

観光ホスピタリティ学科4年 伊東・内川

## 先生のコメント

- 高校生、大学生の視点と様々な考え方を共有することが出来たと思います。この会を通して絆が生まれたのかなと思います。ありがとうございました。
- ワークショップで自分たちの意見を出していける生徒たちの姿を見ることができました。それを引き出してくれた大学生の皆様、ありがとうございました。



# NEWS お知らせ

## 皆さまの善意を栄村にお届けしました

昨年9～3月までの間、「さかえむらトマトジュース」100ケースを、学内外で販売し、無事売ることが出来ました。その利益及び6～8月に販売した栄村農産加工品の収益と合わせて71,045円を、義援金として、栄村農産物直売所「かあちゃん家」に寄付しました。皆様のご協力ありがとうございました。 **学生プロジェクト「ええじゃん栄村」**

## 松本大学やご協力いただいた皆様へ

この度の北部地震における栄村農産物直売所「かあちゃん家」をご支援していただき、ありがとうございます。売場を失った時に皆様が農産物や加工品を販売していただき助かりました。

今はまだ道路の修理等で設置する場所もなく店は閉店したままですが、学生の皆様に募集していただいた宅配産直が多数増え、先日第一回を送送する事が出来ました。

また、行動力で集めていただいた支援金は、「かあちゃん家」の念願である看板を作りたいと思っています。

これからもいろいろお世話になると思いますが、よろしくお願ひします。本当に、ありがとうございます。

栄村農産物直売所「かあちゃん家」  
代表 斉藤 勝美

～平和の大切さ・戦争のない平和な日本の素晴らしさを知ってもらいたい～

## 戦争体験聞き取り記録集

## 「歴史に学ぶ、歴史を伝える」が完成

この本は、本学学生を主メンバーとしたプロジェクト「ピース・オブ・マインド」が2007年から2010年の3年間に、県内の戦争体験者の方々から直接お会いしてお聞きした貴重な聞き取りデータをもとに、地域づくり考房『ゆめ』が作成したものです。

聞き取り活動を通して学生は、命の尊さや平和の必要性を知り、今後どう社会の中で生きて

いくかといった学びがありました。ご協力いただいた皆様方には、心より御礼申し上げます。戦争体験者からの教えは、今だからこそ大切なこととして受け継いでいきたいものです。今回、長野県内の市町村図書館に寄贈しました。ぜひご覧ください。

この本が、平和な地域づくりの一役を担うことができれば幸いです。



## 産学官民協働事業

## 『たのしもう光城山』完成

安曇野の東山は、豊かな自然環境に恵まれ、また北アルプスの眺望が素晴らしい里山です。この里山は、先人たちにより古い歴史と文化が生まれ、昭和30年代までは農業や畜産など盛んで、経済と文化豊かな集落が形成されていました。

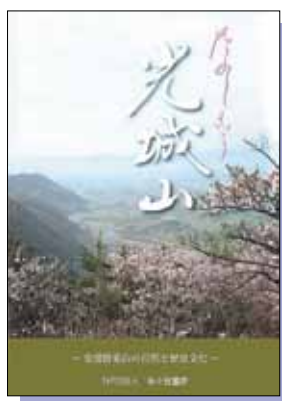
この貴重な歴史・文化、自然や環境を次代に継承するため、里山の全てがわかる冊子とマップを作成しました。作成に当たっては、以前集落に住んでおられた皆さんからかつての集落についてお聞きし、また松本大学の学生さんが東山を調査、研究し、若い目線での「いいところ発見」をしていただき、冊子にまとめました。

この貴重な冊子が後世に資料として受け継がれ、光城山を基点とした自然や環境、また北アルプスの眺望をはじめとした景観の保全、トレッキングコースの整備による市民の健康増進など、安曇野市の滞在型観光につながることを期待します。

この編集に当たり、関わっていただいた地元の皆さんをはじめ、松本大学の先生及び学生さん、そして長野県、安曇野市の皆様にNPO法人楽々安曇野を代表し、深く感謝し御礼申し上げます。

ご希望の方は地域づくり考房『ゆめ』までご連絡ください。

NPO法人楽々安曇野  
理事長 矢花 晃弘



## 旬の野菜を使ってチャレンジ にんじんケーキ

### 新鮮☆ゆめ市場の学生が作成したレシピ

中はしっとり、外はサクッとしたにんじん味のケーキです。混ぜて焼くだけの簡単ケーキです。

#### 【材料】

- ニンジン…………… 1個
- 薄力粉…………… 100g
- バター…………… 100g
- 卵…………… 2個
- 砂糖…………… 80g
- ベーキングパウダー… 2g

#### 【作り方】

- ①バターをレンジで加熱して溶かす。
- ②砂糖を入れて混ぜる。
- ③卵を入れて泡だて器で混ぜる。
- ④小麦粉とベーキングパウダーを入れて混ぜる。
- ⑤にんじんをみじん切りにしてゴムべらで混ぜる。
- ⑥170度に予熱したオーブンで40分焼く。



松大生考案の

体験プログラムが**信州諏訪温泉泊覧会ズーラ**に採用されました。

ズーラ(2012)は47のプログラムが企画され、そのうち松本大学の学生が塩尻市や観光協会との協働事業で取り組み、考案した2つの旅行体験プログラム(塩尻市観光プラン)が採用されました。

ズーラって  
な〜に?

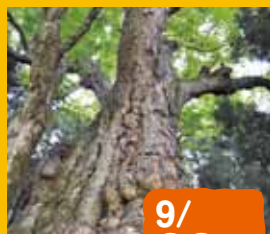
ズーラは、諏訪湖周辺の8市町村で開かれている観光体験イベントです。農業体験、歩く・食べる楽しみ、歴史や文化を知ること等さまざま。暮らす人たちが、ローカルな地域の魅力を掘り起こし、体験企画を通して紹介しようというもの。観光客はもちろん、地元の人も知っているようで知らない、信州の魅力を再発見しようという試みです。

〈予約・申込先〉ホームページ <http://zoola.jp> ☎0266-52-2701

にえ かわ じゆく  
**贄川宿  
ミステリーツアー**



ガイド  
贄川永吉さん  
伊藤靖夫さん  
原 幹夫さん



学生たちが選んだ塩尻市ミステリースポットへご案内します。贄川宿にある清艶な雰囲気漂う樹齢600年のトチノキ、通常では考えられない場所に置かれた多くの石像、全国に2つしかないポストなど。心やさぶられる珍ツアー。体力万全でご参加ください。

9/  
23(日)

●料金：大人1,000円(お茶付)  
●主催：塩尻市観光協会



ワタシが提案しました!

松本大学 3年  
塩原里佳さん



**ひらいで de  
あそぼう**



講師  
小林康男さん



平出遺跡で縄文時代にタイムスリップして遊びましょう。まずは、衣装をつくって縄文人に大変身!そのあとは火おこしをして…。縄文あそびが子どもたちの生きるチカラの学びとなるプログラムです。

9/  
22(土)

●キッズ：小学生対象  
(低学年は保護者同伴必須)  
●料金：大人/子ども1,000円  
(豚汁付)  
●主催：塩尻市立平出博物館



ワタシが提案しました!

松本大学 3年  
丸山 麗さん

**松本大学梓乃森祭「ゆめひろば」  
出展者募集**

「ゆめひろば」は松本大学の学生と地域の皆さんで創るひろばです。これまでの松本大学とのつながりをいかしてぜひ出展しませんか。

- 期 日：10月20日(土)、21日(日)
- 場 所：松本大学5号館ロビー 他
- 申し込み：8月24日(金)まで  
※詳細は、後日HPに掲載します。
- 主 催：松本大学地域づくり考房『ゆめ』



**山小あそびの広場  
学生スタッフ募集**

日頃の活動や学びを活かして、小学生(1~6年)との交流・体験の場を企画運営して下さる学生を募集しています。

- 期 日：10月27日(土)
- 場 所：山形小学校
- 内 容：スポーツ系、芸術系、科学系、音楽系、  
工芸系などの体験プログラム
- 申し込み：8月24日(金)まで
- 主 催：山形小学校 PTA

つぶやき

皆さんこんにちは。地域づくり考房『ゆめ』の学生スタッフリーダーをしています。塩原です。今年の学生スタッフは新たな人がたくさん加わったことにより、昨年とはまた違う風を吹かせることができたらと思っています。もし、何かプロジェクトについて相談、質問などありましたら、お昼休みの時間帯に考房『ゆめ』に入ってすぐのところで、新聞で地域の情報収集をしている学生スタッフがいるので、気軽に声をかけて下さい!

また、夏冬の「活動ふりかえり研修会」やバーベキュー、新年会等の交流会も学生スタッフが企画していきます。今年もよろしくお祈りします!

観光ホスピタリティ学科3年 塩原 里佳

お問い合わせ、ご意見等は下記へご連絡ください。



**松本大学 地域づくり考房『ゆめ』**

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1  
松本大学 7号館 2F

TEL: 0263-48-7213 (直通)

FAX: 0263-48-7216 (直通)

E-mail: [community@matsu.ac.jp](mailto:community@matsu.ac.jp)

※開館日時：月~金 9:30~18:30